運用報告書（全体版）

GCIエンダウメントファンド
（成長型／安定型）

第11期（決算日　2026年９月25日）

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	原則として無期限（2015年９月25日設定）	
運用方針	成　長　型	投資資産のうちリスク資産のウエイトを増やしつつ、伝統的資産に加えてオルタナティブ資産・戦略を活用して分散されたポートフォリオを構築し、信託財産の長期的な成長を目指して積極的な運用を行います。
	安　定　型	投資資産のうちリスク資産のウエイトを抑制しつつ、伝統的資産に加えてオルタナティブ資産・戦略を活用して分散されたポートフォリオを構築し、信託財産の長期的な成長を目指して安定的な運用を行います。
主要運用対象	以下の投資信託証券を主要投資対象とします。 ・NEXT FUNDS TOPIX連動型上場投信 ・バンガード・S&P500 ETF ・バンガード・FTSE先進国市場（除く米国）ETF ・バンガード・FTSE・エマージング・マーケッツETF ・バンガード・米国トータル債券市場ETF ・バンガード・トータル・インターナショナル債券ETF（米ドルヘッジあり） ・NEXT FUNDS 東証REIT指数連動型上場投信 ・バンガード・リアル・エステート ETF ・GCIシステマティック・マクロファンド Vol 10 クラスA ・GCIディバーシファイドアルファファンド クラスA ・GCIマネープールマザーファンド	
主な組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 デリバティブの直接利用は行いません。	
分配方針	年１回、毎決算時に委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ※将来の分配金の支払い及びその金額について保証するものではありません。	

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「GCIエンダウメントファンド（成長型／安定型）」は、このたび上記の決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

株式会社GCIアセット・マネジメント
東京都千代田区大手町2-6-4
お問い合わせ先
クライアント・ソリューション・グループ
TEL：03-6665-6952（営業日の９:00～17:00）
URL：https://www.gci.jp

（成長型）

■最近５期の運用実績

決算期	基準価額（分配落）	税込分配金	期中騰落率	投資信託証券組入比率	純資産総額
	円	円	%	%	百万円
７期（2022年９月26日）	12,557	0	△9.2	96.4	3,201
８期（2023年９月25日）	12,779	0	1.8	96.4	2,878
９期（2024年９月25日）	13,464	0	5.4	94.2	2,247
10期（2025年９月25日）	13,738	0	2.0	96.1	1,791
11期（2026年９月25日）	15,101	0	9.9	74.5	1,638

（注）基準価額の期中騰落率は分配金込みです。
（注）当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

■当期中の基準価額等の推移

年月日	基準価額		投資信託証券組入比率
		騰落率	
（期首）	円	%	%
2025年９月25日	13,738	―	96.1
９月末	13,749	0.1	96.4
10月末	13,953	1.6	95.2
11月末	14,136	2.9	95.7
12月末	14,169	3.1	95.6
2026年１月末	14,577	6.1	96.5
２月末	15,055	9.6	97.0
３月末	14,135	2.9	95.1
４月末	14,680	6.9	95.5
５月末	14,919	8.6	95.7
６月末	14,836	8.0	96.2
７月末	14,854	8.1	96.6
８月末	15,014	9.3	95.5
（期末）			
2026年９月25日	15,101	9.9	74.5

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

（安定型）

■最近５期の運用実績

決算期	基準価額（分配落）	税込分配金	期中騰落率	投資信託証券組入比率	純資産総額
	円	円	%	%	百万円
７期（2022年９月26日）	11,108	0	△8.2	89.9	1,375
８期（2023年９月25日）	10,974	0	△1.2	88.9	1,154
９期（2024年９月25日）	11,231	0	2.3	86.9	882
10期（2025年９月25日）	11,197	0	△0.3	90.0	718
11期（2026年９月25日）	11,603	0	3.6	71.1	591

（注）基準価額の期中騰落率は分配金込みです。
（注）当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

■当期中の基準価額等の推移

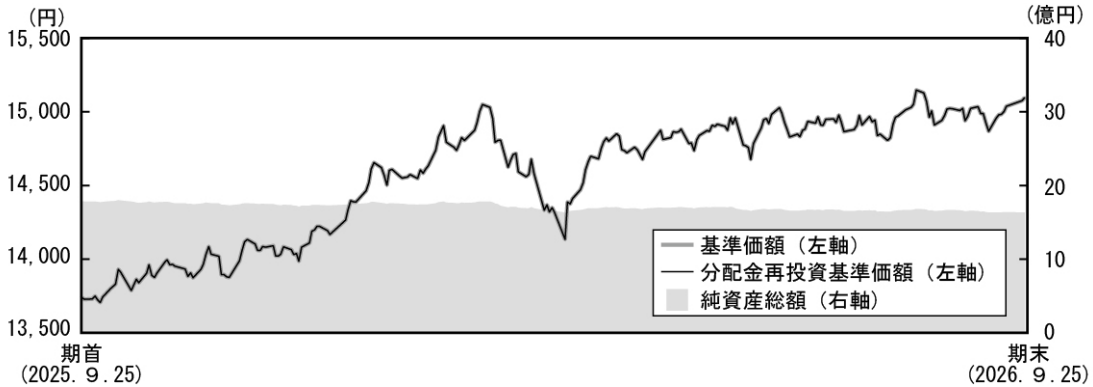
年月日	基準価額		投資信託証券組入比率
		騰落率	
（期首）	円	%	%
2025年９月25日	11,197	―	90.0
９月末	11,208	0.1	90.3
10月末	11,304	1.0	89.8
11月末	11,421	2.0	90.3
12月末	11,403	1.8	87.8
2026年１月末	11,599	3.6	90.4
２月末	11,858	5.9	90.0
３月末	11,372	1.6	89.4
４月末	11,561	3.3	89.4
５月末	11,627	3.8	87.7
６月末	11,587	3.5	88.5
７月末	11,544	3.1	88.6
８月末	11,583	3.4	89.9
（期末）			
2026年９月25日	11,603	3.6	71.1

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

運用経過

（成長型）

■基準価額等の推移



期　　首：13,738円
期　　末：15,101円（既払分配金（税引前）：0円）
騰 落 率：　9.9%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注）分配金を再投資するか否かについてはそれぞれの受益者が利用されるコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、それぞれの受益者の損益状況を示すものではありません。

■基準価額の主な変動要因

GCIエンダウメントファンド（成長型）の基準価額は上昇し、当期間のリターンは+9.9%となりました。

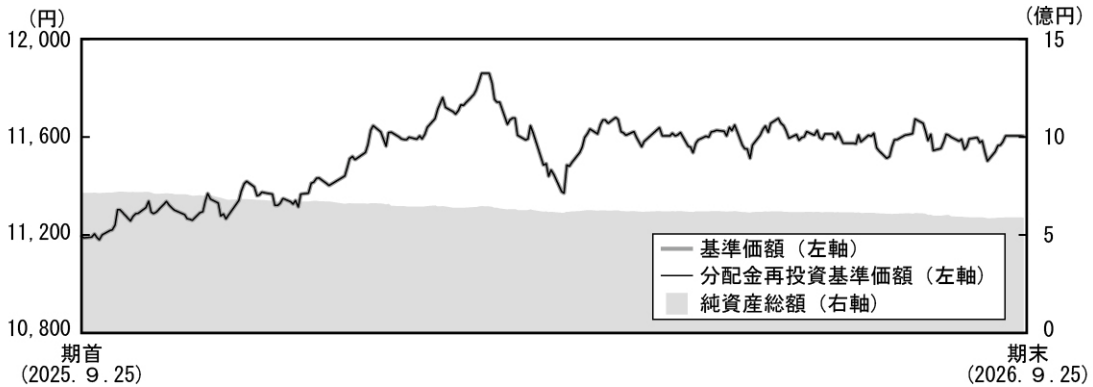
当期間は、各国のインフレや財政への懸念などから長期金利が上昇し、債券やREIT市場はマイナスとなったものの、人工知能（AI）需要への期待を背景に株式市場が大幅に上昇したことやオルタナティブ戦略の堅調なパフォーマンスを主因に、ファンドの基準価額は上昇しました。

株式市場は、AI・半導体関連株の大幅上昇に牽引され、グローバルで株価が大幅に上昇したことから、株式は基準価額にプラスに寄与しました。債券市場は、好調な企業業績などを背景にクレジット・スプレッド（企業等の信用力を示す国債に対する上乗せ利回り）は縮小したものの、中東情勢の悪化を背景としたインフレ再燃懸念や各国の財政悪化懸念を背景にグローバルで国債利回りが大幅に上昇しました。債券は基本資産配分をゼロとしたため、基準価額への影響はありませんでした。REIT市場は、AI需要を背景にデータセンターなどの成長セクターの上昇が牽引し米国REITは底堅く推移したものの、長期金利の大幅上昇を嫌気し国内REITが下落したことから、REIT市場全体では基準価額にマイナスに寄与しました。当ファンドが特徴としているオルタナティブ戦略は、２戦略に分散して投資を行いました。イラン戦争の発生により市場が急変した局面では大きくマイナスを計上したものの、トレンドフォロー系の戦略である「GCI システマティック・マクロファンド Vol10 クラスA」、複数のサブ戦略から構成される「GCI ディバーシファイドアルファファンド クラスA」ともに、期を通じては市場動向を捉えプラスを確保することができたため、オルタナティブ戦略全体では基準価額にプラスに寄与しました。また、当ファンドはドル建て資産を保有しており、為替リスクをヘッジし価格変動リスクを抑制した運用を行っていますが、為替ヘッジにかかるコストの負担が、ファンドのパフォーマンスを下押ししました。

詳しくは「投資環境」をご参照ください。

（安定型）

■基準価額等の推移



期　　首：11,197円
期　　末：11,603円（既払分配金（税引前）：0円）
騰 落 率：　3.6%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注）分配金を再投資するか否かについてはそれぞれの受益者が利用されるコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、それぞれの受益者の損益状況を示すものではありません。

■基準価額の主な変動要因

GCIエンダウメントファンド（安定型）の基準価額は上昇し、当期間のリターンは+3.6%となりました。

当期間は、各国のインフレや財政への懸念などから長期金利が上昇し、債券やREIT市場はマイナスとなったものの、人工知能（AI）需要への期待を背景に株式市場が大幅に上昇したことやオルタナティブ戦略の堅調なパフォーマンスを主因に、ファンドの基準価額は上昇しました。

株式市場は、AI・半導体関連株の大幅上昇に牽引され、グローバルで株価が大幅に上昇したことから、株式は基準価額にプラスに寄与しました。債券市場は、好調な企業業績などを背景にクレジット・スプレッド（企業等の信用力を示す国債に対する上乗せ利回り）は縮小したものの、中東情勢の悪化を背景としたインフレ再燃懸念や各国の財政悪化懸念を背景にグローバルで国債利回りが大幅に上昇したことから、債券は基準価額にマイナスに寄与しました。REIT市場は、AI需要を背景にデータセンターなどの成長セクターの上昇が牽引し米国REITは底堅く推移したものの、長期金利の大幅上昇を嫌気し国内REITが下落したことから、REIT市場全体では基準価額にマイナスに寄与しました。当ファンドが特徴としているオルタナティブ戦略は、２戦略に分散して投資を行いました。イラン戦争の発生により市場が急変した局面では大きくマイナスを計上したものの、トレンドフォロー系の戦略である「GCI システマティック・マクロファンド Vol10 クラスA」、複数のサブ戦略から構成される「GCI ディバーシファイドアルファファンド クラスA」ともに、期を通じては市場動向を捉えプラスを確保することができたため、オルタナティブ戦略全体では基準価額にプラスに寄与しました。また、当ファンドはドル建て資産を保有しており、為替リスクをヘッジし価格変動リスクを抑制した運用を行っていますが、為替ヘッジにかかるコストの負担が、ファンドのパフォーマンスを下押ししました。

詳しくは「投資環境」をご参照ください。

（成長型）／（安定型）

■投資環境

【先進国株式】

先進国株式市場は上昇しました。米国とイランの軍事衝突による中東の地政学リスクの高まりを受けて調整する場面も見られたものの、AI需要の拡大に伴う主要なAI・半導体関連株の力強い上昇が相場全体を牽引しました。米国株式市場は、中東情勢の悪化に伴う原油価格急騰やインフレ再燃への警戒から調整する場面もあったものの、米連邦準備制度理事会（FRB）による緩和的な金融政策や、大型IT・半導体関連株の良好な業績が相場上昇を牽引し、期を通じて堅調に推移しました。もっとも、期の後半にかけては、イラン情勢の長期化に伴う原油価格の高止まりや長期金利の上昇が上値を抑える要因となりました。欧州株式市場は、地政学リスクやエネルギー価格高騰への懸念が上値を抑える場面があったものの、欧州企業の業績が総じて良好であったことや、各国による防衛費などの財政支出拡大への期待が好感され、堅調に推移しました。国内株式市場は、良好な企業業績を背景に堅調な展開となりました。2026年２月の衆院選での自民党大勝を受け、政権基盤の安定や高市政権による成長政策の推進に対する期待が高まると株価は一段高となり、グローバルなAI・半導体関連株の上昇の波及も相まって、日経平均株価は一時72,000円台まで上昇しました。

【新興国株式】

新興国株式市場は、台湾株式市場の上昇が牽引し全体では上昇しました。期中に発生したイランを巡る紛争や地政学リスクの高まりに伴う原油価格の急騰が一時的な重石となったものの、米中間の関税問題に対する過度な懸念が後退したことや、主要国の金融緩和姿勢、世界的なAI関連需要の拡大が相場を下支えしました。中でも、AI需要の急速な拡大を背景に主力の半導体企業を中心に好業績が継続した台湾株式市場の大幅上昇が市場全体を大きく牽引しました。

【先進国債券】

先進国債券市場は下落しました。イランを巡る紛争に伴う原油価格の急騰やインフレ再燃への警戒、主要国の中央銀行による利上げ観測、各国での財政拡張政策などが重石となり、各国国債利回りは総じて上昇（債券価格は下落）しました。一方で、良好な企業業績や株式市場の堅調さを背景にクレジット・スプレッド（企業等の信用力を示す国債に対する上乗せ利回り）が縮小したことは、債券市場全体の一定の下支えとなりました。米国では、期の前半こそ米連邦準備制度理事会（FRB）の利下げが相場を下支えしたものの、2026年２月のイランを巡る紛争勃発以降は、原油高に伴うインフレ懸念から追加利下げ期待が後退し、金利はじりじりと上昇しました。紛争の長期化に伴いFRBによる利上げ観測が浮上したことで期の後半にかけては金利上昇基調が強まり、米国10年国債利回りは約19年ぶりの高水準となる5.1％台まで上昇しました。欧州では、中東情勢を受けたエネルギー価格高騰によるインフレ懸念や欧州中央銀行（ECB）による追加利上げの実施、各国の防衛費増額に伴う財政悪化への警戒などが重石となり、金利は上昇しました。日本では、中東情勢に伴う原油高や日銀による利上げ観測の高まりに加え、高市政権による拡張的な財政政策を受けた国債増発・財政悪化懸念などが嫌気され、金利は上昇基調となりました。この結果、日本10年国債利回りは約30年ぶりの高水準となる3.0％台まで上昇しました。

【REIT市場】
REIT市場は地域毎でまちまちの動きとなりました。米国REIT市場は、地政学リスクの高まりやインフレ再燃警戒に伴う金利上昇が一時上値を抑えたものの、データセンターやヘルスケアなど成長セクターの良好な業績が好感され、上昇しました。一方、国内REIT市場は、オフィス市場をはじめとする不動産市況の改善や、割安な利回り水準に着目した買い需要が下支えとなったものの、日銀による追加利上げ観測や国内長期金利の大幅な上昇が嫌気され、下落しました。

【オルタナティブ】
オルタナティブ戦略の代表格であるヘッジファンド市場は総じて上昇しました。戦略別では、市場のトレンドが比較的明確に表れたことからトレンドフォロー戦略やCTA戦略が相場を牽引しアウトパフォームした一方、世界的な金利上昇の影響を受け、債券クレジット戦略や債券アービトラージ戦略などは伸び悩みアンダーパフォームする展開となりました。

【為替相場】
ドル円相場は、日米金利差や貿易赤字などの恒常的な構造要因を背景に、期初は１ドル＝140円台後半で円安基調に推移しました。その後は、2026年２月の衆院選で自民党が圧勝し、高市政権による積極的な財政政策や日銀による金融引き締めの遅れが意識されたことに加え、中東情勢の緊迫化に伴う原油価格急騰や有事のドル買いも重なり、円売り・ドル買いが加速しました。７月には約40年ぶりの円安水準となる164円近辺まで大幅に円安が進行しました。その後は、日米協調による為替介入の実施や米国による円安牽制姿勢、日銀の利上げペース加速観測などを背景に極端な円安水準は修正され、150円台後半で期末を迎えました。

■当該投資信託のポートフォリオ

（成長型）
主として、各国のETFとヘッジファンドに投資しており、期初に定めた基本資産配分比率に従って運用を行いました。この基本資産配分比率は、長期間にわたり安定したパフォーマンスを実現してきた米国名門大学の基金（エンダウメント）が実践してきた投資手法・スタイルを模範としており、投資資産のうちリスク資産のウエイトを増やしつつ、伝統的資産に加えてオルタナティブ資産・戦略を活用して分散されたポートフォリオを構築し、信託財産の長期的な成長を目指して積極的な運用を行いました。なお、オルタナティブ戦略については、期を通じてトレンドフォロー系の戦略である「GCI システマティック・マクロファンド Vol10 クラスA」と複数のサブ戦略から構成される「GCI ディバーシファイドアルファファンド クラスA」の２戦略に分散して投資を行いましたが、2026年９月に、「GCI ディバーシファイドアルファファンド クラスA」の運用は「GCI システマティック・マクロファンド Vol10 クラスA」に集約されることになったことから、「GCI ディバーシファイドアルファファンド クラスA」については、期末にかけてポジションを全て解消しました。
組入ファンドの当期末時点における組入比率については、後掲の「当該投資信託のデータ」の「当該投資信託の組入資産の内容」をご参照ください。

（安定型）
主として、各国のETFとヘッジファンドに投資しており、期初に定めた基本資産配分比率に従って運用を行いました。この基本資産配分比率は、長期間にわたり安定したパフォーマンスを実現してきた米国名門大学の基金（エンダウメント）が実践してきた投資手法・スタイルを模範としてお

り、投資資産のうちリスク資産のウエイトを抑制しつつ、伝統的資産に加えてオルタナティブ資産・戦略を活用して分散されたポートフォリオを構築し、信託財産の長期的な成長を目指して安定的な運用を行いました。なお、オルタナティブ戦略については、期を通じてトレンドフォロー系の戦略である「GCI システマティック・マクロファンド Vol10 クラスA」と複数のサブ戦略から構成される「GCI ディバーシファイドアルファファンド クラスA」の２戦略に分散して投資を行いましたが、2026年９月に、「GCI ディバーシファイドアルファファンド クラスA」の運用は「GCI システマティック・マクロファンド Vol10 クラスA」に集約されることになったことから、「GCI ディバーシファイドアルファファンド クラスA」については、期末にかけてポジションを全て解消しました。

組入ファンドの当期末時点における組入比率については、後掲の「当該投資信託のデータ」の「当該投資信託の組入資産の内容」をご参照ください。

■当該投資信託のベンチマークとの差異

（成長型）／（安定型）

各ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

■分配金

（成長型）

収益分配金については、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配は行いませんでした。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

【分配原資の内訳】　（単位：１万口当たり・税引前）

項目		第11期
		2025年９月26日～2026年９月25日
当期分配金	（円）	－
（対基準価額比率）	（%）	（－）
当期の収益	（円）	－
当期の収益以外	（円）	－
翌期繰越分配対象額	（円）	5,100

（注）円未満は切り捨てているため、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。
（注）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

（安定型）

収益分配金については、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配は行いませんでした。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

【分配原資の内訳】　（単位：１万口当たり・税引前）

項目		第11期
		2025年９月26日～2026年９月25日
当期分配金	（円）	―
（対基準価額比率）	（％）	（―）
当期の収益	（円）	―
当期の収益以外	（円）	―
翌期繰越分配対象額	（円）	2,273

（注）円未満は切り捨てているため、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。
（注）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

（成長型）／（安定型）

＜運用の基本スタンス＞

「GCIエンダウメントファンド（以下、「当ファンド」といいます）」は、さまざまな市場環境を乗り越えて、長期間にわたるすばらしい運用実績を残してきたエンダウメント（大学財団）型の投資戦略をお手本に、オルタナティブ投資を積極的に活用したグローバル分散投資を行います。リスクとリターンの源泉を分散・多様化するとともに、運用コストにも注意を払い、運用資産の長期的成長を効率的に目指します。

当ファンドの運用手法はシンプルかつ頑健（Robust）です。原則として年1回、基本資産配分（ターゲット・ポートフォリオ）を決定した上で、適宜リバランスを実行し、資産配分を維持します。

基本資産配分（ターゲット・ポートフォリオ）は、想定リスクを成長型で年率８％、安定型で年率５％にセットし、対象資産の流動性やキャパシティ（市場規模）などを吟味して選択した投資対象ユニバースの中で、最良の期待リターンとなるように配分比率を決定します。その時々の市場動向やムードなどに過度に振り回されず、取引コストを抑制しながら、一定のリスクを効率的に取り続けるという、ブレのない運用姿勢を貫きます。

長期資産形成において、もっとも重要なのは「継続」です。ときによって、うまくいくことも、そうでないときもありますが、途中で止めてしまう（その多くは損切りしてしまう）ことを避けるべく、「分散」効果を活用したリスク管理を重視します。

＜ビッグ・ピクチャー＞

年に１度の基本資産配分の点検に合わせて、当ファンドでは、その前提となる「ビッグ・ピクチャー」を確認しています。ビッグ・ピクチャーとは、足元の市場を予測するものではなく、10年程度の時間軸で世界経済と金融市場の構造変化を捉え、長期的な資産配分の前提を確認するものです。

私たちの基本的な認識は、世界経済が長く続いた低インフレ・低金利の時代から、「名目成長レジーム」へ移行したということです。

■ディスインフレの終焉と「名目成長レジーム」への移行

1980年代以降、グローバル化、市場経済の拡大、情報通信革命は世界経済の成長を促すと同時に、強

いディスインフレ圧力をもたらしました。しかし、コロナ禍以降の大規模な財政・金融政策、地政学リスクの高まり、サプライチェーンの再構築などを契機として、この構造には大きな変化が生じています。

一方で、人類の技術革新と世界経済の成長力そのものが失われたとは考えていません。AIをはじめとする技術革新や旺盛な設備投資は新たな成長の源泉となっています。したがって、今後の世界を単純な「低成長・高インフレ」とみるのではなく、成長とインフレが併存し、名目ベースの経済規模や企業収益が拡大する一方、金利や市場変動も高まりやすい環境と捉えています。

■資産配分は、複数のリターン源泉を組み合わせる

この環境では、株式は引き続き長期的な成長を取り込むための重要な資産です。一方、インフレや財政拡張が金利を押し上げる局面では、債券が常に株式のリスクを相殺するとは限りません。また、為替、商品、金利、地政学など、市場を動かす要因も多様化しています。だからこそ重要なのは、将来を一点で予測することではなく、異なる環境で機能する複数のリターン源泉を組み合わせ、環境の変化に応じてその組み合わせを点検し続けることだと考えています。

■Adaptive Endowment ― 原則は不変、実装は可変

私たちは、この考え方を「Adaptive Endowment（アダプティブ・エンダウメント）」と呼びます。

米国大学基金に代表されるエンダウメント型の長期分散投資を基本としながら、その資産配分を固定的なものとは考えません。長期的な原則は維持しつつ、経済・市場の構造変化に応じて、その実装を進化させていく。いわば、「原則は不変、実装は可変」という考え方です。

市場の短期的な動きに反応して資産配分を頻繁に変更することはありません。しかし、前提そのものが変化したと判断すれば、必要な見直しを行います。分散とリスク管理を運用の軸としながら、世界経済と企業の長期的な成長を取り込み、さまざまな市場環境に耐えられるポートフォリオを構築すること。それが当ファンドの目指す長期運用です。

＜基本資産配分＞

このビッグ・ピクチャーを前提として、2026年９月、年に1度の基本資産配分の点検を行いました。今回の見直しでは、株式の配分を引き上げる一方、ヘッジファンドの配分を引き下げました。債券、REIT、現金等の基本配分は維持しています。

■株式：名目成長を取り込む中核資産として配分を引き上げ

株式の配分を引き上げた背景には、前述の「名目成長レジーム」という認識があります。インフレや金利上昇による変動を伴いながらも、世界経済と企業収益の名目的な成長が続くのであれば、株式は長期的な成長を取り込む中心的な資産であり続けると考えています。

■債券：役割は改善したが、インフレ環境を踏まえ現状維持

債券については、金利水準の上昇によって以前より投資対象としての魅力は改善しています。しかし、インフレや財政拡張によって長期金利が高止まりする可能性を考えると、従来の低インフレ時代と同じ役割を期待することには慎重であるべきだと考え、基本配分を維持しました。なお、成長型では従来どおり債券を組み入れません。

■ヘッジファンド：配分を見直し、「GCI システマティック・マクロファンド Vol10 クラスA」へ集約

ヘッジファンドについては、単に配分を減らしたのではなく、リターン源泉の有効性を改めて検証した結果、構成を見直しました。「GCI ディバーシファイドアルファファンド クラスA」への基

本配分をゼロとし、「GCI システマティック・マクロファンド Vol10 クラスA」に集約します。
長期投資における「規律」は「放置」を意味するものではありません。個々の戦略について継続的に検証し、期待する役割を十分に果たしているかを確認したうえで、必要であれば見直すことも長期運用の一部だと考えています。

■為替：円ベースのリスク管理を軸に機動的に対応
為替については、円ベースでのリスク・リターンを重視する基本姿勢を維持します。金利差だけでなく、日本と海外の金融・財政政策、インフレ率など複数の要因が為替を左右する環境にあるため、特定の為替水準を前提とするのではなく、引き続き機動的に対応していきます。

今回の基本資産配分の変更は、短期的な市場見通しに基づくものではありません。長期的な原則を守りながら、環境の変化に応じてポートフォリオの実装を進化させる。「原則は不変、実装は可変」―今回の見直しは、Adaptive Endowmentという考え方を具体化したものです。

■１万口当たりの費用明細

（成長型）

項目	第11期 2025年９月26日～2026年９月25日		項目の概要
	金額（円）	比率（％）	
(a) 信託報酬	76	0.526	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は14,506円です。
（投信会社）	(20)	(0.141)	委託した資金運用と受託会社への指図、基準価額の算出、法定書面の作成等の対価
（販売会社）	(48)	(0.330)	交付運用報告書等の各種書類の提供・送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(8)	(0.055)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	1	0.008	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数×10,000
（投資信託受益証券）	(1)	(0.008)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) その他費用	6	0.040	(c)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数×10,000
（保管費用）	(2)	(0.014)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(4)	(0.026)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理に要するその他の費用
合計	83	0.574	

（注）期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

（注）各金額は、項目ごとに円未満を四捨五入しています。

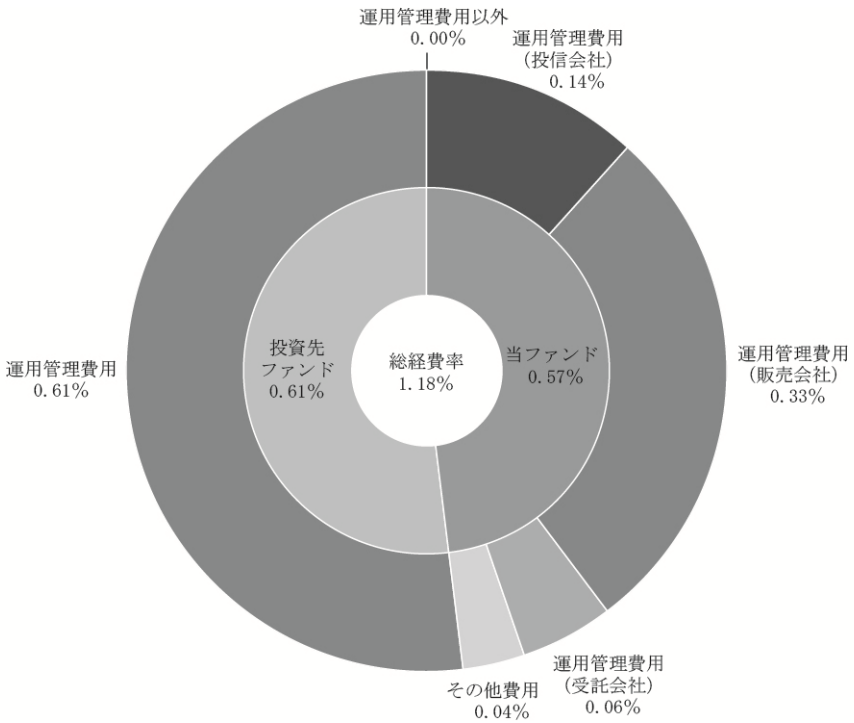
（注）各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資対象ファンド（投資信託証券）（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。当該投資対象ファンドの直近の計算期末時点における費用明細が取得できるものについては、後掲の「組入上位ファンドの概要」に表示することとしています。

（注）各比率は、１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満を四捨五入しています。

（参考情報）総経費率

（成長型）

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.18%です。



（単位：%）

総経費率（①＋②＋③）	1.18
①このファンドの費用の比率	0.57
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.61
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00

（注）①の費用は、１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注）各比率は、年率換算した値です。
（注）投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券です。
（注）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。
（注）投資先ファンドの一部については、運用管理費用以外の費用が含まれていない場合があります。

（安定型）

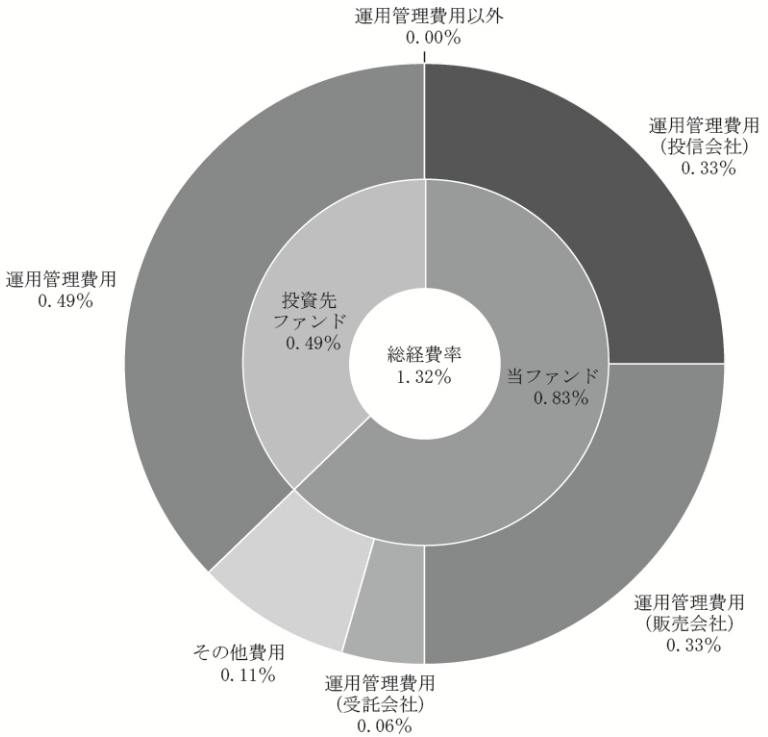
項目	第11期 2025年９月26日～2026年９月25日 金額（円）	比率（％）	項目の概要
(a) 信託報酬	82	0.715	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は11,505円です。
（投信会社）	(38)	(0.330)	委託した資金運用と受託会社への指図、基準価額の算出、法定書面の作成等の対価
（販売会社）	(38)	(0.330)	交付運用報告書等の各種書類の提供・送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(6)	(0.055)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	1	0.010	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数×10,000
（投資信託受益証券）	(1)	(0.010)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) その他費用	12	0.106	(c)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数×10,000
（保管費用）	(4)	(0.037)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(8)	(0.068)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	(0)	(0.001)	その他は、信託事務の処理に要するその他の費用
合計	95	0.831	

（注）期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
（注）各金額は、項目ごとに円未満を四捨五入しています。
（注）各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資対象ファンド（投資信託証券）（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。当該投資対象ファンドの直近の計算期末時点における費用明細が取得できるものについては、後掲の「組入上位ファンドの概要」に表示することとしています。
（注）各比率は、１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満を四捨五入しています。

（参考情報）総経費率

（安定型）

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.32%です。



（単位：%）

総経費率（①＋②＋③）	1.32
①このファンドの費用の比率	0.83
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.49
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00

（注）①の費用は、１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注）各比率は、年率換算した値です。
（注）投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券です。
（注）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。
（注）投資先ファンドの一部については、運用管理費用以外の費用が含まれていない場合があります。

（成長型）

■売買及び取引の状況

投資信託受益証券、投資証券　（2025年９月26日から2026年９月25日まで）

			買付		売付	
			口数	金額	口数	金額
			口	千円	口	千円
国内		NEXT FUNDS TOPIX連動型上場投信	4,700 (567,540)	16,166 (－)	63,900	71,955
		NEXT FUNDS 東証REIT指数連動型上場投信	－	－	2,600	5,595
			口	千米ドル	口	千米ドル
外国	米国	バンガード・リアルエステートETF	－	－	650	60
		バンガード・FTSE・エマージング・マーケッツ ETF	2,000	109	820	47
		バンガード・FTSE先進国市場（除く米国）ETF	2,600	158	2,460	159
		バンガード・S&P500 ETF	140	86	520	337
			口	千円	口	千円
	ケイマン	GCIシステマティック・マクロファンドVol 10 クラスA	－ (△35)	－ (－)	32,122	343,000
		GCIディバーシファイドアルファファンド クラスA	20,125 (△34)	145,000 (－)	56,002	395,816

（注）金額は受渡し代金です。
（注）単位未満は切り捨てています。ただし、単位未満の場合は小数で記載しています。
（注）（ ）内は分割・償還による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

■親投資信託受益証券の設定、解約状況　（2025年９月26日から2026年９月25日まで）

ファンド名	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
GCIマネープールマザーファンド	－	－	9,993	10,000

（注）金額は受渡し代金です。
（注）単位未満は切り捨てています。

■利害関係人との取引状況等（2025年９月26日から2026年９月25日まで）

該当事項はありません。

（注）利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第１項に規定される利害関係人です。

（成長型）

■組入資産の明細

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンド　（2026年９月25日現在）

ファンド名	当期末		
	口数	評価額	比率
	口	千円	%
NEXT FUNDS TOPIX連動型上場投信	580,600	249,832	15.2
NEXT FUNDS 東証REIT指数連動型上場投信	44,150	82,869	5.1
GCIシステマティック・マクロファンド Vol 10 クラスA	36,099	398,149	24.3
合計	660,849	730,851	44.6

（注）比率は、当ファンドの純資産総額に対する各邦貨建ファンドの評価額の割合です。
（注）評価額は、単位未満を切り捨てています。

(2) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた外貨建ファンド　（2026年９月25日現在）

ファンド名	当期末			
	口数	評価額		比率
		外貨建金額	邦貨換算金額	
（米国）	口	千米ドル	千円	%
バンガード・リアルエステートETF	4,550	414	65,865	4.0
バンガード・FTSE・エマージング・マーケッツ ETF	5,770	345	54,850	3.3
バンガード・FTSE先進国市場（除く米国）ETF	10,330	733	116,536	7.1
バンガード・S&P500 ETF	2,253	1,592	252,912	15.4
合計	22,903	3,087	490,164	29.9

（注）邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
（注）比率は、当ファンドの純資産総額に対する各外貨建ファンドの評価額の割合です。
（注）評価額は、単位未満を切り捨てています。

（成長型）

(3) 親投資信託残高

（2026年９月25日現在）

ファンド名	期首（前期末）	当期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
GCIマネープールマザーファンド	40,004	30,011	30,237

（注）口数・評価額の単位未満は切り捨てています。
（注）GCIマネープールマザーファンドの期末の受益権総口数は390,583千口です。

■投資信託財産の構成

（2026年９月25日現在）

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託受益証券	1,221,016	73.1
GCIマネープールマザーファンド	30,237	1.8
コール・ローン等、その他	420,192	25.1
投資信託財産総額	1,671,445	100.0

（注）比率は、当ファンドの投資信託財産総額に対する各資産の評価額の割合です。
（注）評価額は、単位未満を切り捨てています。
（注）当期末における外貨建純資産（491,119千円）の投資信託財産総額（1,671,445千円）に対する比率は29.4%です。
（注）外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは１米ドル＝158.78円です。

（成長型）

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

（2026年９月25日現在）

項目	当期末
(A) 資産	2,112,362,739円
コール・ローン等	419,656,773
投資信託受益証券(評価額)	1,221,016,042
GCIマネープールマザーファンド(評価額)	30,237,031
未収入金	440,917,105
未収配当金	523,154
未収利息	12,634
(B) 負債	474,065,684
未払金	455,953,399
未払解約金	13,449,952
未払信託報酬	4,442,333
その他未払費用	220,000
(C) 純資産総額(A－B)	1,638,297,055
元本	1,084,916,964
次期繰越損益金	553,380,091
(D) 受益権総口数	1,084,916,964口
１万口当たり基準価額(C／D)	15,101円

（注）当ファンドの期首元本額は1,303,949,737円、期中追加設定元本額は37,995,868円、期中一部解約元本額は257,028,641円です。

（注）１口当たり純資産額は1.5101円です。

■損益の状況

当期（2025年９月26日から2026年９月25日まで）

項目	当期
(A) 配当等収益	16,990,065円
受取配当金	16,592,797
受取利息	397,268
(B) 有価証券売買損益	137,508,478
売買益	225,147,278
売買損	△87,638,800
(C) 信託報酬等	△9,711,568
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	144,786,975
(E) 前期繰越損益金	124,384,318
(F) 追加信託差損益金	284,208,798
(配当等相当額)	(207,669,936)
(売買損益相当額)	(76,538,862)
(G) 合計(D＋E＋F)	553,380,091
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G＋H)	553,380,091
追加信託差損益金	284,208,798
(配当等相当額)	(207,670,690)
(売買損益相当額)	(76,538,108)
分配準備積立金	269,171,293

（注）(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

（注）(C)信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

（注）(F)追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

（注）(H)収益分配金の額の計算過程については、以下の表をご参照ください。

項目	当期
計算期間末における配当等収益から費用を控除した額	16,178,212円
有価証券売買等損益から費用を控除した額	91,350,063円
信託約款に規定される収益調整金	284,208,798円
信託約款に規定される分配準備積立金	161,643,018円
分配対象収益 （１万口当たり）	553,380,091円 5,100円
分配金額 （１万口当たり）	0円 0円

（安定型）

■売買及び取引の状況

投資信託受益証券、投資証券　（2025年９月26日から2026年９月25日まで）

			買		売	
			口数	金額	口数	金額
			口	千円	口	千円
国内		NEXT FUNDS TOPIX連動型上場投信	－	－	16,500	21,330
			(101,250)	(－)		
		NEXT FUNDS 東証REIT指数連動型上場投信	－	－	1,000	2,158
			口	千米ドル	口	千米ドル
外国	米国	バンガード・リアルエステートETF	－	－	170	15
		バンガード・米国トータル債券市場ETF	－	－	2,610	192
		バンガード・FTSE先進国市場（除く米国）ETF	－	－	930	59
		バンガード・トータル・インターナショナル債券ETF（米ドルヘッジあり）	－	－	2,480	120
		バンガード・S&P500 ETF	－	－	170	107
			口	千円	口	千円
	ケイマン	GCIシステマティック・マクロファンド Vol 10 クラスA	－	－	9,071	97,000
			(△1)	(－)		
		GCIディバーシファイドアルファファンド クラスA	7,185	52,000	17,561	124,061
			(△27)	(－)		

（注）金額は受渡し代金です。
（注）単位未満は切り捨てています。ただし、単位未満の場合は小数で記載しています。
（注）（ ）内は分割・償還による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

■親投資信託受益証券の設定、解約状況

（2025年９月26日から2026年９月25日まで）

ファンド名	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
GCIマネープールマザーファンド	－	－	9,993	10,000

（注）金額は受渡し代金です。
（注）単位未満は切り捨てています。

■利害関係人との取引状況等（2025年９月26日から2026年９月25日まで）

該当事項はありません。

（注）利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第１項に規定される利害関係人です。

（安定型）

■組入資産の明細

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンド　（2026年９月25日現在）

ファンド名	当期末		
	口数	評価額	比率
	口	千円	%
NEXT FUNDS TOPIX連動型上場投信	100,500	43,245	7.3
NEXT FUNDS 東証REIT指数連動型上場投信	9,300	17,456	3.0
GCIシステマティック・マクロファンド Vol 10 クラスA	11,349	124,991	21.1
合計	121,149	185,692	31.4

（注）比率は、当ファンドの純資産総額に対する各邦貨建ファンドの評価額の割合です。
（注）評価額は、単位未満を切り捨てています。

(2) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた外貨建ファンド　（2026年９月25日現在）

ファンド名	当期末			
	口数	評価額		比率
		外貨建金額	邦貨換算金額	
（米国）	口	千米ドル	千円	%
バンガード・リアルエステートETF	615	56	8,902	1.5
バンガード・米国トータル債券市場ETF	8,570	603	95,864	16.2
バンガード・FTSE先進国市場（除く米国）ETF	1,966	139	22,179	3.8
バンガード・トータル・インターナショナル債券ETF（米ドルヘッジあり）	8,363	392	62,270	10.5
バンガード・S&P500 ETF	405	286	45,463	7.7
合計	19,919	1,478	234,680	39.7

（注）邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
（注）比率は、当ファンドの純資産総額に対する各外貨建ファンドの評価額の割合です。
（注）評価額は、単位未満を切り捨てています。

（安定型）

(3) 親投資信託残高

（2026年９月25日現在）

ファンド名	期首（前期末）	当期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
GCIマネープールマザーファンド	39,855	29,862	30,085

（注）口数・評価額の単位未満は切り捨てています。
（注）GCIマネープールマザーファンドの期末の受益権総口数は390,583千口です。

■投資信託財産の構成

（2026年９月25日現在）

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託受益証券	420,373	69.7
ＧＣＩマネープールマザーファンド	30,085	5.0
コール・ローン等、その他	152,400	25.3
投資信託財産総額	602,859	100.0

（注）比率は、当ファンドの投資信託財産総額に対する各資産の評価額の割合です。
（注）評価額は、単位未満を切り捨てています。
（注）当期末における外貨建純資産（244,889千円）の投資信託財産総額（602,859千円）に対する比率は40.6％です。
（注）外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは１米ドル＝158.78円です。

（安定型）

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

（2026年９月25日現在）

項目	当期末
(A) 資産	830,237,586円
コール・ローン等	152,325,671
投資信託受益証券(評価額)	420,373,331
GCIマネープールマザーファンド(評価額)	30,085,976
未収入金	227,377,635
未収配当金	70,709
未収利息	4,264
(B) 負債	239,147,523
未払金	235,688,034
未払解約金	1,022,015
未払信託報酬	2,217,474
その他未払費用	220,000
(C) 純資産総額(A－B)	591,090,063
元本	509,429,544
次期繰越損益金	81,660,519
(D) 受益権総口数	509,429,544口
１万口当たり基準価額(C／D)	11,603円

（注）当ファンドの期首元本額は641,422,410円、期中追加設定元本額は8,046,590円、期中一部解約元本額は140,039,456円です。

（注）１口当たり純資産額は1.1603円です。

■損益の状況

当期（2025年９月26日から2026年９月25日まで）

項目	当期
(A) 配当等収益	10,187,180円
受取配当金	9,883,420
受取利息	303,760
(B) 有価証券売買損益	15,449,404
売買益	65,597,443
売買損	△50,148,039
(C) 信託報酬等	△5,295,472
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	20,341,112
(E) 前期繰越損益金	△2,702,723
(F) 追加信託差損益金	64,022,130
(配当等相当額)	(51,592,670)
(売買損益相当額)	(12,429,460)
(G) 合計 (D＋E＋F)	81,660,519
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G＋H)	81,660,519
追加信託差損益金	64,022,130
(配当等相当額)	(51,593,003)
(売買損益相当額)	(12,429,127)
分配準備積立金	64,232,416
繰越損益金	△46,594,027

（注）(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

（注）(C)信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

（注）(F)追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

（注）(H)収益分配金の額の計算過程については、以下の表をご参照ください。

項目	当期
計算期間末における配当等収益から費用を控除した額	8,296,551円
有価証券売買等損益から費用を控除した額	0円
信託約款に規定される収益調整金	51,593,003円
信託約款に規定される分配準備積立金	55,935,865円
分配対象収益 （１万口当たり）	115,825,419円 2,273円
分配金額 （１万口当たり）	0円 0円

■分配金のお知らせ

	第	11	期
	成　長　型	安　定　型	
１万口当たり分配金（税引前）	0円	0円	

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。
※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。
※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

（成長型）／（安定型）

■お知らせ

◇約款変更

2026年４月１日付で、「一般社団法人投資信託協会」が「一般社団法人日本投資顧問業協会」と合併し、「一般社団法人資産運用業協会」に名称変更されたことに伴い、投資信託約款の該当文言について所要の変更を行いました。（約款変更適用日：2026年４月１日）

◇運用体制の変更

該当事項はありません。

［組入投資信託証券の内容］

当期末現在、「GCIエンダウメントファンド（成長型／安定型）」が組み入れている投資対象ファンド（投資信託証券）は以下の通りです。

■NEXT FUNDS TOPIX 連動型上場投信

ファンド形態	国内籍上場投資信託
主要な投資対象	日本株式
運用の基本方針	配当込みTOPIXに連動する投資成果を目指します。
委託会社（運用会社）の名称	野村アセットマネジメント株式会社

○損益及び剰余金計算書　2025年７月11日～2026年７月10日

（単位：円）

営業収益	
受取配当金	638,005,470,782
受取利息	10,891,804,343
有価証券売買等損益	10,242,497,076,167
派生商品取引等損益	193,752,578,063
その他収益	27,390,744,129
営業収益合計	11,112,537,673,484
営業費用	
支払利息	8,006,341,391
受託者報酬	5,070,346,998
委託者報酬	13,595,693,200
その他費用	5,817,561,270
営業費用合計	32,489,942,859
営業利益又は営業損失（△）	11,080,047,730,625
経常利益又は経常損失（△）	11,080,047,730,625
当期純利益又は当期純損失（△）	11,080,047,730,625
一部交換に伴う当期純利益金額の分配額又は	
一部交換に伴う当期純損失金額の分配額（△）	－
期首剰余金又は期首欠損金（△）	13,494,323,482,163
剰余金増加額又は欠損金減少額	1,377,175,582,211
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	1,377,175,582,211
剰余金減少額又は欠損金増加額	1,491,756,714,725
当期一部交換に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	1,491,756,714,725
分配金	636,593,707,365
期末剰余金又は期末欠損金（△）	23,823,196,372,909

○組入上位10銘柄

2026年７月10日

	銘柄名	種類	通貨	組入比率（%）
1	三菱ＵＦＪフィナンシャル・グループ	株式	日本円	3.8
2	東京エレクトロン	株式	日本円	2.7
3	トヨタ自動車	株式	日本円	2.6
4	三井住友フィナンシャルグループ	株式	日本円	2.6
5	ソフトバンクグループ	株式	日本円	2.1
6	日立製作所	株式	日本円	2.1
7	みずほフィナンシャルグループ	株式	日本円	2.0
8	ソニーグループ	株式	日本円	2.0
9	村田製作所	株式	日本円	1.7
10	アドバンテスト	株式	日本円	1.6
組入銘柄数				1,637銘柄

■バンガード・S&P500 ETF

ファンド形態	外国籍上場投資信託
主要な投資対象	米国株式
運用の基本方針	S&P500指数に連動する投資成果を目指します。
委託会社（運用会社）の名称	ザ・バンガード・グループ・インク

○損益計算書　2026年１月１日～2026年６月30日

金額（千米ドル）

Investment Income	
Income	
Dividends	9,167,372
Interest	53,048
Securities Lending-Net	84
Total Income	9,220,504
Expenses	
The Vanguard Group-Note C	
Investment Advisory Services	18,962
Management and Administrative-Investor Shares	1,819
Management and Administrative-ETF Shares	95,191
Management and Administrative-Admiral Shares	107,012
Management and Administrative-Institutional Select Shares	290
Marketing and Distribution-Investor Shares	73
Marketing and Distribution-ETF Shares	21,533
Marketing and Distribution-Admiral Shares	11,445
Marketing and Distribution-Institutional Select Shares	27
Custodian Fees	2,265
Shareholders' Reports-Investor Shares	1
Shareholders' Reports-ETF Shares	3,970
Shareholders' Reports-Admiral Shares	1,311
Shareholders' Reports-Institutional Select Shares	1
Trustees' Fees and Expenses	376
Other Expenses	204
Total Expenses	264,480
Net Investment Income	**8,956,024**
Realized Net Gain (Loss)	
Investment Securities Sold	131,308,478
Futures Contracts	1,466
Swap Contracts	63,078
Realized Net Gain (Loss)	**131,373,022**

Change in Unrealized Appreciation (Depreciation)	
Investment Securities	12,660,862
Futures Contracts	8,129
Swap Contracts	(26,853)
Change in Unrealized Appreciation (Depreciation)	**12,642,138**
Net Increase (Decrease) in Net Assets Resulting from Operations	**152,971,184**

○組入上位10銘柄

2026年６月30日

	銘柄名	種類	通貨	組入比率（%）
1	NVIDIA Corp	株式	米ドル	7.5
2	Apple Inc	株式	米ドル	6.6
3	Microsoft Corp	株式	米ドル	4.3
4	Amazon.com Inc	株式	米ドル	3.6
5	Alphabet Inc. Class A	株式	米ドル	3.2
6	Broadcom Inc	株式	米ドル	2.8
7	Alphabet Inc. Class C	株式	米ドル	2.6
8	Micron Technology Inc	株式	米ドル	2.0
9	Meta Platforms Inc. Class A	株式	米ドル	1.9
10	Tesla Inc	株式	米ドル	1.8
組入銘柄数				506銘柄

■バンガード・FTSE先進国市場（除く米国）ETF

ファンド形態	外国籍上場投資信託
主要な投資対象	米国を除く世界の先進国株式
運用の基本方針	FTSE先進国オールキャップ（除く米国）インデックスに連動する投資成果を目指します。
委託会社（運用会社）の名称	ザ・バンガード・グループ・インク

○損益計算書　2026年１月１日～2026年６月30日

金額（千米ドル）

Investment Income	
Income	
Dividends	4,779,421
Interest	13,497
Securities Lending-Net	41,989
Total Income	4,834,907
Expenses	
The Vanguard Group-Note C	
Investment Advisory Services	11,258
Management and Administrative-Investor Shares	24
Management and Administrative-ETF Shares	15,455
Management and Administrative-Admiral Shares	6,481
Management and Administrative-Institutional Shares	1,506
Management and Administrative-Institutional Plus Shares	870
Marketing and Distribution-Investor Shares	1
Marketing and Distribution-ETF Shares	3,016
Marketing and Distribution-Admiral Shares	956
Marketing and Distribution-Institutional Shares	272
Marketing and Distribution-Institutional Plus Shares	404
Custodian Fees	3,833
Shareholders' Reports-Investor Shares	—
Shareholders' Reports-ETF Shares	1,941
Shareholders' Reports-Admiral Shares	142
Shareholders' Reports-Institutional Shares	22
Shareholders' Reports-Institutional Plus Shares	113
Trustees' Fees and Expenses	73
Professional Services	3,865
Other Expenses	314
Total Expenses	50,546
Net Investment Income	**4,784,361**

Realized Net Gain (Loss)	
Investment Securities Sold	206,149
Futures Contracts	260,408
Forward Currency Contracts	(3,946)
Foreign Currencies	(13,387)
Realized Net Gain (Loss)	**449,224**
Change in Unrealized Appreciation (Depreciation)	
Investment Securities	35,738,731
Futures Contracts	1,240
Forward Currency Contracts	(10,224)
Foreign Currencies	(25,705)
Change in Unrealized Appreciation (Depreciation)	**35,704,042**
Net Increase (Decrease) in Net Assets Resulting from Operations	**40,937,627**

○組入上位10銘柄

2026年６月30日

	銘柄名	種類	通貨	組入比率（%）
1	Samsung Electronics Co Ltd	株式	韓国ウォン	3.1
2	SK hynix Inc	株式	韓国ウォン	3.0
3	ASML Holding NV	株式	ユーロ	2.3
4	HSBC Holdings PLC	株式	英ポンド	1.0
5	Novartis AG	株式	スイスフラン	0.9
6	Royal Bank of Canada	株式	カナダドル	0.9
7	Roche Holding AG	株式	スイスフラン	0.9
8	AstraZeneca PLC	株式	英ポンド	0.9
9	Nestle SA	株式	スイスフラン	0.8
10	Siemens AG	株式	ユーロ	0.7
組入銘柄数				3,868銘柄

■バンガード・FTSE・エマージング・マーケッツETF

ファンド形態	外国籍上場投資信託
主要な投資対象	新興国株式
運用の基本方針	FTSEエマージング・マーケッツ・オールキャップ（含む中国A株）インデックスに連動する投資成果を目指します。
委託会社（運用会社）の名称	ザ・バンガード・グループ・インク

○損益計算書　2025年11月１日～2026年４月30日

金額（千米ドル）

Investment Income	
Income	
Dividends	1,328,150
Interest	47,083
Securities Lending-Net	47,082
Total Income	1,422,315
Expenses	
The Vanguard Group-Note C	
Investment Advisory Services	5,144
Management and Administrative-Investor Shares	85
Management and Administrative-ETF Shares	18,841
Management and Administrative-Admiral Shares	10,270
Management and Administrative-Institutional Shares	2,121
Management and Administrative-Institutional Plus Shares	1,387
Marketing and Distribution-Investor Shares	2
Marketing and Distribution-ETF Shares	1,514
Marketing and Distribution-Admiral Shares	526
Marketing and Distribution-Institutional Shares	154
Marketing and Distribution-Institutional Plus Shares	127
Custodian Fees	12,451
Shareholders' Reports-Investor Shares	1
Shareholders' Reports-ETF Shares	1,651
Shareholders' Reports-Admiral Shares	163
Shareholders' Reports-Institutional Shares	79
Shareholders' Reports-Institutional Plus Shares	52
Trustees' Fees and Expenses	39
Other Expenses	161
Total Expenses	54,768
Net Investment Income	**1,367,547**
Realized Net Gain (Loss)	

Investment Securities Sold	(1,300,792)
Futures Contracts	11,127
Swap Contracts	20,139
Forward Currency Contracts	(59,317)
Foreign Currencies	(51,298)
Realized Net Gain (Loss)	**(1,380,141)**
Change in Unrealized Appreciation (Depreciation)	
Investment Securities	12,936,554
Futures Contracts	45,653
Swap Contracts	26,733
Forward Currency Contracts	(35,711)
Foreign Currencies	59,615
Change in Unrealized Appreciation (Depreciation)	**13,032,844**
Net Increase (Decrease) in Net Assets Resulting from Operations	**13,020,250**

○組入上位10銘柄

2026年４月30日

	銘柄名	種類	通貨	組入比率（%）
1	Taiwan Semiconductor Manufacturing Co Ltd	株式	台湾ドル	14.0
2	Tencent Holdings Ltd	株式	香港ドル	3.1
3	Alibaba Group Holding Ltd	株式	香港ドル	2.5
4	Delta Electronics Inc	株式	台湾ドル	1.1
5	MediaTek Inc	株式	台湾ドル	1.0
6	Reliance Industries Ltd	株式	インドルピー	0.9
7	China Construction Bank Corp	株式	香港ドル	0.8
8	HDFC Bank Ltd	株式	インドルピー	0.8
9	Hon Hai Precision Industry Co Ltd	株式	台湾ドル	0.7
10	PDD HOLDINGS INC	株式	米ドル	0.6
組入銘柄数				6,355銘柄

■バンガード・米国トータル債券市場ETF

ファンド形態	外国籍上場投資信託
主要な投資対象	米国の投資適格債券
運用の基本方針	ブルームバーグ 米国総合浮動調整インデックスに連動する投資成果を目指します。
委託会社（運用会社）の名称	ザ・バンガード・グループ・インク

○損益計算書　2026年１月１日～2026年６月30日

金額（千米ドル）

Investment Income	
Income	
Interest	7,835,743
Total Income	7,835,743
Expenses	
The Vanguard Group-Note C	
Investment Advisory Services	6,965
Management and Administrative-Investor Shares	277
Management and Administrative-ETF Shares	15,264
Management and Administrative-Admiral Shares	15,501
Management and Administrative-Institutional Shares	3,804
Management and Administrative-Institutional Plus Shares	2,231
Management and Administrative-Institutional Select Shares	1,571
Marketing and Distribution-Investor Shares	14
Marketing and Distribution-ETF Shares	2,837
Marketing and Distribution-Admiral Shares	2,571
Marketing and Distribution-Institutional Shares	793
Marketing and Distribution-Institutional Plus Shares	546
Marketing and Distribution-Institutional Select Shares	129
Custodian Fees	244
Shareholders' Reports-Investor Shares	1
Shareholders' Reports-ETF Shares	1,449
Shareholders' Reports-Admiral Shares	472
Shareholders' Reports-Institutional Shares	160
Shareholders' Reports-Institutional Plus Shares	189
Shareholders' Reports-Institutional Select Shares	1
Trustees' Fees and Expenses	94

Other Expenses	87
Total Expenses	55,200
Net Investment Income	**7,780,543**
Realized Net Gain (Loss) on Investment Securities Sold	**(956,564)**
Change in Unrealized Appreciation (Depreciation) of Investment Securities	**(4,037,347)**
Net Increase (Decrease) in Net Assets Resulting from Operations	**2,786,632**

○組入上位10銘柄

2026年６月30日

	銘柄名	種類	通貨	組入比率（%）
1	United States Treasury Note/Bond 3.5% 01/31/2028	債券	米ドル	0.5
2	United States Treasury Note/Bond 4.375% 05/15/2034	債券	米ドル	0.4
3	United States Treasury Note/Bond 4.25% 11/15/2034	債券	米ドル	0.4
4	United States Treasury Note/Bond 3.375% 11/30/2027	債券	米ドル	0.4
5	United States Treasury Note/Bond 4.625% 02/15/2035	債券	米ドル	0.4
6	United States Treasury Note/Bond 4.125% 02/15/2036	債券	米ドル	0.4
7	United States Treasury Note/Bond 3.875% 08/15/2034	債券	米ドル	0.4
8	United States Treasury Note/Bond 4% 02/15/2034	債券	米ドル	0.4
9	United States Treasury Note/Bond 4.25% 08/15/2035	債券	米ドル	0.4
10	United States Treasury Note/Bond 4.5% 11/15/2033	債券	米ドル	0.4
組入銘柄数				11,476銘柄

■バンガード・トータル・インターナショナル債券ETF（米ドルヘッジあり）

ファンド形態	外国籍上場投資信託
主要な投資対象	米ドル建てを除く世界の投資適格債券
運用の基本方針	ブルームバーグ グローバル総合（米ドル除く）浮動調整RIC基準インデックス（米ドルヘッジベース）に連動する投資成果を目指します。
委託会社（運用会社）の名称	ザ・バンガード・グループ・インク

○損益計算書　2025年11月１日～2026年４月30日

金額（千米ドル）

Investment Income	
Income	
Interest	1,606,213
Total Income	1,606,213
Expenses	
The Vanguard Group-Note C	
Investment Advisory Services	5,522
Management and Administrative-Investor Shares	9
Management and Administrative-ETF Shares	18,916
Management and Administrative-Admiral Shares	9,737
Management and Administrative-Institutional Shares	2,306
Marketing and Distribution-Investor Shares	1
Marketing and Distribution-ETF Shares	1,384
Marketing and Distribution-Admiral Shares	567
Marketing and Distribution-Institutional Shares	265
Custodian Fees	1,745
Shareholders' Reports-Investor Shares	1
Shareholders' Reports-ETF Shares	980
Shareholders' Reports-Admiral Shares	195
Shareholders' Reports-Institutional Shares	17
Trustees' Fees and Expenses	31
Other Expenses	41
Total Expenses	41,717
Net Investment Income	**1,564,496**
Realized Net Gain (Loss)	
Investment Securities Sold	(19,977)
Futures Contracts	(3,330)
Forward Currency Contracts	5,300,599
Foreign Currencies	(1,876,826)
Realized Net Gain (Loss)	**3,400,466**

Change in Unrealized Appreciation (Depreciation)	
Investment Securities	(1,158,573)
Futures Contracts	(14,438)
Forward Currency Contracts	(4,796,631)
Foreign Currencies	185,572
Change in Unrealized Appreciation (Depreciation)	**(5,784,070)**
Net Increase (Decrease) in Net Assets Resulting from Operations	**(819,108)**

○組入上位10銘柄

2026年４月30日

	銘柄名	種類	通貨	組入比率（%）
1	French Republic Government Bond OAT 2.7% 02/25/2031	債券	ユーロ	0.4
2	French Republic Government Bond OAT 2.75% 02/25/2029	債券	ユーロ	0.4
3	United Kingdom Gilt 4.375% 03/07/2030	債券	英ポンド	0.4
4	United Kingdom Gilt 4.375% 03/07/2028	債券	英ポンド	0.4
5	United Kingdom Gilt 4.125% 07/22/2029	債券	英ポンド	0.4
6	United Kingdom Gilt 4.125% 03/07/2031	債券	英ポンド	0.3
7	United Kingdom Gilt 3.75% 01/29/2038	債券	英ポンド	0.3
8	Italy Buoni Poliennali Del Tesoro 4.1% 02/01/2029	債券	ユーロ	0.3
9	Spain Government Bond 2.4% 05/31/2028	債券	ユーロ	0.3
10	French Republic Government Bond OAT 2.4% 09/24/2028	債券	ユーロ	0.3
組入銘柄数				6,698銘柄

■NEXT FUNDS 東証REIT指数連動型上場投信

ファンド形態	国内籍上場投資信託
主要な投資対象	日本の不動産投資信託証券
運用の基本方針	配当込み東証REIT指数に連動する投資成果を目指します。
委託会社（運用会社）の名称	野村アセットマネジメント株式会社

○損益及び剰余金計算書　2026年２月11日～2026年８月10日

（単位：円）

営業収益	
受取配当金	11,876,168,231
受取利息	114,229,424
有価証券売買等損益	△56,758,814,466
派生商品取引等損益	△1,093,399,060
その他収益	544,462,514
営業収益合計	△45,317,353,357
営業費用	
支払利息	81,702,850
受託者報酬	89,300,133
委託者報酬	371,802,612
その他費用	98,350,471
営業費用合計	641,156,066
営業利益又は営業損失（△）	△45,958,509,423
経常利益又は経常損失（△）	△45,958,509,423
当期純利益又は当期純損失（△）	△45,958,509,423
一部交換に伴う当期純利益金額の分配額又は	
一部交換に伴う当期純損失金額の分配額（△）	－
期首剰余金又は期首欠損金（△）	254,921,955,099
剰余金増加額又は欠損金減少額	28,784,372,605
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	28,784,372,605
剰余金減少額又は欠損金増加額	16,010,513,168
当期一部交換に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	16,010,513,168
分配金	11,905,280,542
期末剰余金又は期末欠損金（△）	209,832,024,571

○組入上位10銘柄

2026年８月10日

	銘柄名	種類	通貨	組入比率（%）
1	日本ビルファンド投資法人　投資証券	投資証券	日本円	7.3
2	ジャパンリアルエステイト投資法人　投資証券	投資証券	日本円	5.8
3	日本都市ファンド投資法人　投資証券	投資証券	日本円	5.5
4	ＧＬＰ投資法人　投資証券	投資証券	日本円	4.4
5	野村不動産マスターファンド投資法人　投資証券	投資証券	日本円	4.4
6	日本プロロジスリート投資法人　投資証券	投資証券	日本円	4.1
7	ＫＤＸ不動産投資法人　投資証券	投資証券	日本円	4.1
8	オリックス不動産投資法人　投資証券	投資証券	日本円	3.6
9	大和ハウスリート投資法人　投資証券	投資証券	日本円	3.4
10	ユナイテッド・アーバン投資法人　投資証券	投資証券	日本円	3.3
組入銘柄数				58銘柄

■バンガード・リアル・エステート ETF

ファンド形態	外国籍上場投資信託
主要な投資対象	米国の不動産投資信託証券
運用の基本方針	MSCI US Investable Market Real Estate 25/50・インデックスに連動する投資成果を目指します。
委託会社（運用会社）の名称	ザ・バンガード・グループ・インク

○損益計算書　2025年２月１日～2026年１月31日

金額（千米ドル）

Investment Income	
Income	
Dividends-Unaffiliated Issuers	1,647,078
Dividends-Vanguard Real Estate II Index Fund	260,119
Interest-Unaffiliated Issuers	171
Interest-Affiliated Issuers	5,907
Securities Lending-Net	2,467
Total Income	1,915,742
Expenses	
The Vanguard Group-Note C	
Investment Advisory Services	1,208
Management and Administrative-Investor Shares	179
Management and Administrative-ETF Shares	35,319
Management and Administrative-Admiral Shares	21,611
Management and Administrative-Institutional Shares	8,791
Marketing and Distribution-Investor Shares	3
Marketing and Distribution-ETF Shares	1,422
Marketing and Distribution-Admiral Shares	979
Marketing and Distribution-Institutional Shares	339
Custodian Fees	78
Auditing Fees	39
Shareholders' Reports and Proxy Fees-Investor Shares	2
Shareholders' Reports and Proxy Fees-ETF Shares	1,623
Shareholders' Reports and Proxy Fees-Admiral Shares	359
Shareholders' Reports and Proxy Fees-Institutional Shares	306
Trustees' Fees and Expenses	38
Other Expenses	63

Total Expenses	72,359
Net Investment Income	**1,843,383**
Realized Net Gain (Loss)	
Capital Gain Distributions Received-Unaffiliated Issuers	251,490
Capital Gain Distributions Received-Vanguard Real Estate II Index Fund	—
Investment Securities Sold-Unaffiliated Issuers	453,464
Investment Securities Sold-Affiliated Issuers	34
Investment Securities Sold-Vanguard Real Estate II Index Fund	—
Swap Contracts	45,402
Realized Net Gain (Loss)	**750,390**
Change in Unrealized Appreciation (Depreciation)	
Investment Securities-Unaffiliated Issuers	(107,672)
Investment Securities-Affiliated Issuers	5
Investment Securities-Vanguard Real Estate II Index Fund	126,299
Swap Contracts	(5,752)
Change in Unrealized Appreciation (Depreciation)	**12,880**
Net Increase (Decrease) in Net Assets Resulting from Operations	**2,606,653**

○組入上位10銘柄

2026年１月31日

	銘柄名	種類	通貨	組入比率（%）
1	Welltower Inc	投資証券	米ドル	7.1
2	Prologis Inc	投資証券	米ドル	6.9
3	American Tower Corp	投資証券	米ドル	4.8
4	Equinix Inc	投資証券	米ドル	4.6
5	Simon Property Group Inc	投資証券	米ドル	3.5
6	Digital Realty Trust Inc	投資証券	米ドル	3.2
7	Realty Income Corp	投資証券	米ドル	3.1
8	CBRE Group Inc	投資証券	米ドル	2.9
9	Public Storage	投資証券	米ドル	2.5
10	Crown Castle Inc	投資証券	米ドル	2.1
組入銘柄数				148銘柄

■GCIシステマティック・マクロファンド Vol 10 クラスA

ファンド形態	外国籍投資信託
主要な投資対象	世界各国の株価指数先物・債券先物・金利先物、通貨先物、為替
運用の基本方針	システム運用により信託財産の長期的な成長を目指します。
委託会社（運用会社）の名称	株式会社GCIアセット・マネジメント

○損益計算書　2025年５月31日～2026年５月29日

（単位：米ドル）

Realised gain/loss	
Realised gain/loss fx forward	(607,381.98)
Realised gain/loss fx spot	(67,931.53)
Realised gain/loss mutual funds	414,773.25
Total for Realised gain/loss	**(260,540.26)**
Unrealised gain/loss	
FX gain/loss - balance sheet	(33,731.02)
Unrealised p/l forward fx	(52,586.39)
Unrealised p/l settled mutual funds	41,387.16
Unrealised p/l spot fx	(0.01)
Total for Unrealised gain/loss	**(44,930.26)**
Other gain/loss	
Rounding G/L	(0.01)
Total for Other gain/loss	**(0.01)**
Interest income	
Interest income investments	137,349.57
Total for Interest income	**137,349.57**
Other expenses	
Administration disbursements	(794.00)
Administration fee expense	(7,939.83)
Audit fee	(5,288.81)
Bank charges	(1,241.27)
Board Meeting expense	(388.24)
CRS Services Expense	(1,056.20)
FATCA Services fee expense	(1,886.00)
Financial statement prep exp	(3,968.37)
Legal fee	(2,085.22)
License fee	(4,024.93)
MLRO Fee Expense	(653.03)
Trustee Fees Expense	(3,940.64)
Total for Other expenses	**(33,266.54)**

Investment management fee expense	
Incentive fee expense	(2,583.87)
Management Fees Expense	(65,954.54)
Total for Investment management fee expense	**(68,538.41)**
Net profit/loss for the period (GCI SYSTEMATIC MACRO FUND Vol 10 - Class A Units)	**(269,925.91)**

○組入上位10銘柄

2026年５月29日

	銘柄名	種類	通貨	国	組入比率（%）
1	10-Year JGB Futures Jun 26	債券先物	JPY	日本	33.1
2	2-Year T-Note Futures Sep 26	債券先物	USD	アメリカ	25.4
3	Goldman Sachs Funds US Liquid Reserves- I	MMF	USD	アメリカ	19.8
4	10-Year T-Note Futures Sep 26	債券先物	USD	アメリカ	19.5
5	ASX 10 Year Treasury Bond Futures Jun 26	債券先物	AUD	オーストラリア	16.6
6	Ten-Year Government of Canada Bond Futures Sep 26	債券先物	CAD	カナダ	16.1
7	S&P/TSX 60 Index Standard Futures Jun 26	株価指数先物	CAD	カナダ	16.0
8	Ultra U.S. Treasury Bond Futures Sep 26	債券先物	USD	アメリカ	12.5
9	Euro-Bobl Futures Jun 26	債券先物	EUR	ドイツ	11.1
10	FTSE 100 Index Futures Jun 26	株価指数先物	GBP	イギリス	7.7
組入銘柄数					21銘柄

GCIマネープールマザーファンド

運用報告書

第10期（決算日　2026年９月25日）

＜計算期間　2025年９月26日～2026年９月25日＞

GCIマネープールマザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

■当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	無期限（2017年３月15日設定）
運用方針	安定した収益の確保を目指して安定運用を行います。
主要投資対象	わが国の短期公社債等を主要投資対象とします。
主な組入制限	・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 ・投資信託証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の５％以下とします。

■最近５期の運用実績

決算期	基準価額		株式組入比率	投資信託証券組入比率	株式先物比率	債券組入比率	純資産総額
		期中騰落率					
	円	%	%	%	%	%	百万円
６期（2022年９月26日）	9,977	△0.1	－	－	－	－	69,601
７期（2023年９月25日）	9,973	△0.0	－	－	－	－	9,856
８期（2024年９月25日）	9,974	0.0	－	－	－	－	9,151
９期（2025年９月25日）	9,999	0.3	－	－	－	90.3	5,092
10期（2026年９月25日）	10,075	0.8	－	－	－	94.0	393

（注）当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

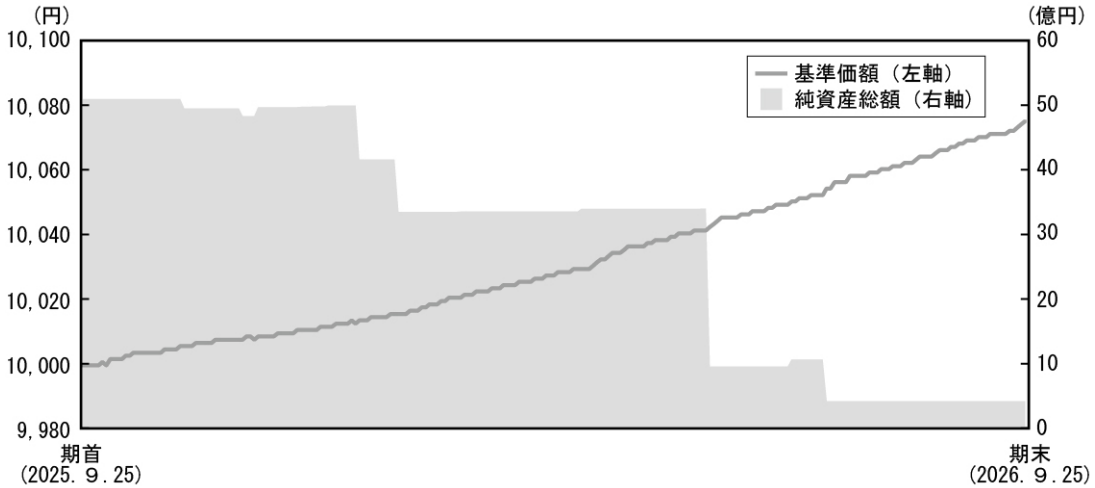
■当期中の基準価額等の推移

年月日	基準価額		債券組入比率
		騰落率	
（期首）	円	%	
2025年９月25日	9,999	－	90.3
９月末	9,999	0.0	90.3
10月末	10,005	0.1	91.2
11月末	10,008	0.1	96.3
12月末	10,012	0.1	93.2
2026年１月末	10,016	0.2	92.7
２月末	10,022	0.2	92.7
３月末	10,028	0.3	92.7
４月末	10,036	0.4	91.4
５月末	10,043	0.4	91.1
６月末	10,051	0.5	91.1
７月末	10,060	0.6	94.0
８月末	10,068	0.7	94.0
（期末）			
2026年９月25日	10,075	0.8	94.0

（注）騰落率は期首比です。

運用経過

■基準価額等の推移



期　　首：9,999円
期　　末：10,075円
騰 落 率：　0.8%

■基準価額の主な変動要因

運用対象の国庫短期証券等の利回りが期中プラスに推移したため、基準価額は9,999円から10,075円に76円の値上がりとなりました。

■投資環境

・国内短期金融市場について

日本銀行は2025年12月に政策金利を0.50%程度から0.75%程度へ、2026年６月には1.00%程度へ、2026年９月には1.25%程度へ引き上げたことを背景として、３ヶ月国庫短期証券利回り及び無担保コール翌日物のレートは当期を通じて上昇しました。当期末時点で、それぞれ1.24%、1.23%となっております。

また当ファンドで主に運用している３ヶ月国庫短期証券利回りは0.45%近辺で始まり、当期は上昇傾向で推移しました。

■ポートフォリオについて

国庫短期証券の組入を中心に運用を行いました。

■当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

■今後の運用方針

今後も国庫短期証券などを中心に投資を行い、信託財産の安定した収益の確保を目指して運用を行いますが、市場環境によっては目標とする運用が出来ない場合があります。

■１万口当たりの費用明細

該当事項はありません。

■売買及び取引の状況

公社債　（2025年９月26日から2026年９月25日まで）

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	国債証券	11,999,842	2,946,627
			(13,300,000)

（注）金額は受渡し代金です。（経過利子分は含まれておりません。）
（注）単位未満は切り捨てています。
（注）（ ） 内は償還等による増減分です。

■利害関係人との取引状況等（2025年９月26日から2026年９月25日まで）

該当事項はありません。
（注）利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第１項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細

公社債

(A) 債券種類別開示

国内（邦貨建）公社債　　（2026年９月25日現在）

区分	当期末						
	額面金額	評価額	組入比率	うちＢＢ格以下組入比率	残存期間別組入比率		
					５年以上	２年以上	２年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	370,000	369,819	94.0	－	－	－	94.0
合計	370,000	369,819	94.0	－	－	－	94.0

（注）組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。
（注）単位未満は切り捨てています。
（注）－印は、組み入れなしです。
（注）評価については、金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 個別銘柄開示

国内（邦貨建）公社債　　（2026年９月25日現在）

種類	銘柄	当期末			
		利率	額面金額	評価額	償還年月日
		%	千円	千円	
国債証券	第１３９３回国庫短期証券	－	370,000	369,819	2026／10／13
合計			370,000	369,819	

（注）額面・評価額の単位未満は切り捨てています。

■投資信託財産の構成　　（2026年９月25日現在）

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
公社債	369,819	94.0
コール・ローン等、その他	23,684	6.0
投資信託財産総額	393,503	100.0

（注）比率は、当ファンドの投資信託財産総額に対する各資産の評価額の割合です。
（注）評価額は、単位未満を切り捨てています。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

（2026年９月25日現在）

項目	当期末
(A) 資産	393,503,718円
コール・ローン等	23,683,935
公社債(評価額)	369,819,070
未収利息	713
(B) 純資産総額(A)	393,503,718
元本	390,583,714
次期繰越損益金	2,920,004
(C) 受益権総口数	390,583,714口
１万口当たり基準価額(B／C)	10,075円

（注）当ファンドの期首元本額は5,093,416,592円、期中追加設定元本額は327,480,278円、期中一部解約元本額は5,030,313,156円です。

（注）2026年９月25日現在の元本の内訳は以下の通りです。

・GCIマネープールファンド（適格機関投資家専用）	314,727,341円
・GCIエンダウメントファンド（成長型）	30,011,942円
・GCIエンダウメントファンド（安定型）	29,862,011円
・GCIIVCプライベートデット・サムライストラテジー2025-12（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）	15,982,420円

（注）１口当たり純資産額は、1.0075円です。

■損益の状況

（2025年９月26日から2026年９月25日まで）

項目	当期
(A) 配当等収益	18,892,055円
受取利息	18,892,055
(B) 有価証券売買損益	△365,704
売買益	127,594
売買損	△493,298
(C) 当期損益金(A+B)	18,526,351
(D) 前期繰越損益金	△631,474
(E) 追加信託差損益金	819,722
(F) 解約差損益金	△15,794,595
(G) 合計 (C+D+E+F)	2,920,004
次期繰越損益金(G)	2,920,004

（注）(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

（注）(E)追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

（注）(F) 解約差損益金とは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

■お知らせ

◇約款変更

2026 年４月１日付で、「一般社団法人投資信託協会」が「一般社団法人日本投資顧問業協会」と合併し、「一般社団法人資産運用業協会」に名称変更されたことに伴い、投資信託約款の該当文言について所要の変更を行いました。（約款変更適用日：2026 年４月１日）

◇運用体制の変更

該当事項はありません。